

---

● 営業マンレポート ●

---

★ 樺島 勉 (かばしま つとむ) 担当エリア 道南エリア ★

【担当営業から】

家族を東京に置いての単身赴任中です。札幌で3年、函館も3年目となり、冬の北海道の雪との付き合いにも少し慣れてきたころです。

北海道で単身赴任生活を満喫している！？と、社内では言われていますが・・・？。たしかに、札幌では、オープンカー（当然レンタカー）で、気ままなドライブ。ある夏の日本海オロロンラインのドライブでは、オープンカーならではの爽快な海沿いのドライブで、これでも人間か？と言われたほど、とんでもない日焼けになったことも・・・。

しかし道南方面には、ドライブ出来ていなかったところに、函館勤務の辞令。函館勤務となり、縁というものを感じました。当然こちらでもオープンカー借りて・・・。

ほかには、ゴルフが身近となり少し本気に取り組み、また、豊富な温泉めぐりと週末は・・・、やっぱり単身赴任を満喫しているか～。感謝。

さて、そんな自己紹介はさておき

今回、道南地区でご紹介させていただきますのは、今年、7月に AquilionONE GS を導入いただきました函館中央病院様をご紹介します。

【お客さま紹介】

函館中央病院様の特色

函館で1930年（昭和5年）に診療を始めて以来、80年以上の歴史があるご施設です。一般病床527床で、総合周産期母子医療センターと全国でもトップクラスの実績を持つ脊椎センターを有し、2014年（平成26年）には北海道がん診療連携指定病院に認定されるなど、道南地域の中核病院です。

診療放射線技術科では、CTはじめMRI、RI、心血管撮影装置（シネ）、TV装置、一般撮影装置などを、診療放射線技師22名がご担当されています。

以下に装置と台数を示します。

CT	MRI	シネ	RI	MMG	TV	一般	DEXA	パノラマ	検バス
2	2	1	1	1	3	4	1	1	1



函館中央病院病院外観



エントランス

<http://www.chubyou.com/>

### 【お客様インタビュー】

斉藤猛美 副技師長の経歴

1980年 弘前大学医療技術短期大学部ご卒業  
(以前メルマガでご紹介された、釧路赤十字病院の工藤技師長様とは同期で同じ下宿だったとのこと)

同年 函館厚生院 函館中央病院 入職  
現在に至る



診療放射線技術科 斉藤猛美副技師長

駒野圭史主任技師の経歴、

2000年 城西放射線技術専門学校 ご卒業

同年 函館厚生院 函館中央病院 入職  
現在に至る



診療放射線技術科 CT担当技師 (欠席: 中村秀輝)

## 【これまでに使用したCT】

- ・1980年 TCT-60A

(道南地区でのCTでは市立函館病院様のEMIに次いで、2番目に早い導入だったそうです。このときから当社CTとのご縁が始まりました。)

- ・1989年 TCT-700S と GE社 Proseed SA
- ・2006年 AsteionSuper4 と Aquilion64
- ・2014年 AquilionONE GS と AquilionCXL(Aquilion64 から Ver.UP)

## 【AquilionONE GSの導入経緯】

この度、320列CT (AquilionONE GS) を導入された経緯を教えてください。

2台のCT (4列CTと64列CT) で検査していますが、今回4列CTを以下の4点の理由で更新しました。

1. 2012年の診療報酬改定で、4列CTの保険点数が下がり、64列CTとの点数差が広がり、今後も減少となる可能性がある。
2. 4列CT装置では、Thin Sliceによる撮影には患者様負担も大きく、緊急時に医師からの要求にこたえる画像作成(柔軟なMPRの作成)に対応出来ない場合がある。
3. 4列CTの使用頻度から、管球寿命の予測により、近々管球交換の時期となる。
4. CT装置を更新することで、患者様の被ばく線量が大幅に減少(AIDR3Dの導入)する。

被ばく線量を減少させるため、今回は更新しない64列CTにもAIDR3Dを導入しないと装置間に被曝線量の差が出てしまうことからAquilion64もAquilionCXLへのVerUPを嘆願しました。

また、AquilionONEは動態検査に特性があると感じたため、今まで使用していたZioStationからZioStation2への更新とPhyZio Dynamicsも導入しました。

## 【東芝への要望・期待】

東芝への要望や期待を教えてください。

東芝の歴代の営業担当の皆さん、アプリ担当の皆さん、特にサービス担当の皆さんには、いつも、迅速な対応と行届いたサービスに感謝しています。また、今回の据付では、函館に勤務していた、なつかしいサービスの方も応援に来てくれたことがうれしかったです。

どうぞ、今後とも末永いお付き合いをよろしくお願いいたします。

(過分なお言葉ありがとうございました。当社のほうこそ永いお付き合いをお願い申し上げます。)

## 【遠友ser会へ期待すること】

最後になりましたが、遠友ser会へ期待することを教えてください。

世話人の皆様ならびに東芝メディカルシステムズの皆様、ご多忙の折、遠友ser会の運営

誠にありがとうございます。函館中央病院 CT 担当技師の駒野と申します。メールマガジンもいつも楽しく拝見させていただいております。

このたび私のような若輩者が僭越ながらも遠友 ser 会様に是非ともお願いしたいことが2点ございます。

まず1点目ですが、札幌や東京のような主要都市での大きな研修会には、仕事の都合・交通の時間・金銭面等々の問題があり地方からの出席が難しい現状があると思います。

昨今、スマートフォン等の情報媒体が普及したことで、どこにいてもインターネットを楽しめる時代となり、インターネット配信の研修会も増えてきました。そこで、遠友 ser 会様で主催される研修会等でインターネットを使用した会員全員が参加できる研修会はにできないのでしょうか？また、各地方で会場カメラを設置し、“会場同士の Live 参加型研修会”などにより、メールによる質問ではなく、地方会員の生の声も是非とも聞いていただきたく存じ上げます。

このようなご提案には地方の遠友 ser 会会員様にも準備がありご多忙の折誠に恐縮ではございますがご検討いただけないでしょうか？

2点目ですが、某薬品会社様から全国の撮影プロトコル集をいただくことがあります。遠友 ser 会会員施設でも各撮影のプロトコルを寄せ集め、遠友 ser 会会員施設の特色にあわせた撮影プロトコルを参考にしたく、“遠友 ser 会会員施設プロトコル集”（工場出荷時のデフォルトで使用していない理由）などの作成を検討いただきたく存じ上げます。

斉藤副技師長様、駒野主任様、お忙しいなかインタビューご協力いただきありがとうございます。ありがとうございました。